



鳥取環境大学 開学10周年記念式典

平成22年6月19日(土) 鳥取環境大学開学10周年を記念して、記念式典を執り行いました。当日は、平井伸治鳥取県知事をはじめ行政、経済界、教育関係、報道の方々の他、退官された先生、職員、卒業生、現職の教職員など約400名が見守る中、盛大に開学10周年を祝いました。



記念式典 第一部

記念式典は、本学11講義室にて開催しました。

まず、古澤巖学長が「社会に開かれた大学として必要な改革を断行し、地域が誇れる魅力ある大学作りに邁進したい」と式辞を述べました。



続いて八村輝夫理事長が挨拶を述べた後、藤井喜臣鳥取県副知事、竹内功鳥取市長、清水昭允鳥取環境大学を支援する会会長に御祝辞を賜りました。

また、開学時より長年に渡り本学をご支援いただいている「鳥取環境大学を支援する会」への感謝の意を表し、会員各社を代表して清水昭允会長へ感謝状を贈呈しました。



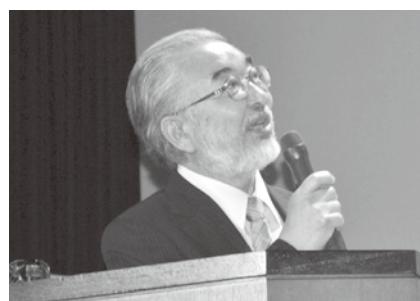
最後に在学生を代表して第10代学友会執行部会長の山田航平(環境政策学科3年)さんが、「諸先輩方が作り上げてこられたものをどう発展させていくのかを考え、学友会執行部会長として新しい風を吹き込みたい。」と決意を述べ、第一部を終了しました。



記念式典 第二部 記念講演会

記念式典の第二部は、財団法人国際高等研究所の尾池和夫所長を講師に、記念講演会を開催しました。講演は『変動帯に生きる』と題して、日本列島の成り立ち、日本の伝統文化を交えながら理科教育の重要性について熱く語られました。

尾池先生は日本ジオパーク委員会の委員長でもあり、鳥取の土地の特性を交えながらのお話で大変興味深い講演でした。



記念植樹式

学生センターの東へ広がる芝生の一角へ、本学同窓会Re;TUESより寄贈していただいた「ソヨゴ」を植樹しました。花言葉は「先見の明」です。ソヨゴが、

その生長とともに本学のますますの発展を見守ってくれることと思います。



祝賀会

祝賀会では、開学時よりお世話になっている方々、教職員、卒業生等、懐かしい面々も揃い、和やかな雰囲気のもと昔話に花を咲かせました。

最後に、新たな10年に向かっての決意を込め、万歳三唱とともに10周年記念式典を終了いたしました。



保護者のみなさまを始め、関係各位のみなさま、地域のみなさまには、開学からの10年間大変お世話になりました。今後ともみなさまのご支援、ご協力のもと、改革・発展していく所存でございます。感謝を申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。